

おうちの図工室・美術室

地図の世界に行ってきたよ

対象学年 小学5年生～高校2年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

夢の世界に旅をするのはいかがでしょうか――。

友だちを自分だけが知っている夢の世界（動物の世界、お菓子の世界など）に案内するときに渡す「夢の地図」を作ってみましょう。

（先生が登校日に交換してください。異なる学校種や、海外の学校との交換もいいですね。）

そして、地図を受け取った人は、「夢の地図」の世界に出発します。

受け取った地図のどの地点からどちらの方向をみているのかを示して、「見ている風景」を描いてみましょう。

「行ってきたよ！！」って、その絵を見せてあげましょうね。

- 地図も風景も、画用紙や、コピー用紙など、かく紙の種類や大きさや形は自由に考えてください。
- パソコンでかいても、絵の具やクレヨン何でかいてもいいですよ。かいたものを貼りあわしてもいいですね。
- 地図には、どんな世界なのか、誰が、何が住んでいるのか、どこに何があるのかの地図をできるだけ詳しくかくと、旅する人がわかりやすくなります。
- 交換をする相手を、ともだちでも、高校生のお兄さん、お姉さんと交換しても面白いですね。先生が、交換してくれますよ。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

自分のイメージする漠然とした世界を「地図をかく」という行為をとおして、イメージのアウトプットや視覚化するプロセスを学びます。

共感性

他者のかいた地図からその世界をイメージすることをとおして、地図のかき手が何を思い、何を楽しみや喜び等を感じているのかをイメージする時間を作ります。また、互いが感じたイメージの違いから、互いの経験やイメージの違いを受容します。

深く見つめる

他者のかいた地図の要素の位置関係を考え、風景をイメージすることをとおして、空間を認識する力をつかって表現としてアウトプットすることを期待します。

社会への広まり

他者のイメージする世界を知ること、お互いの世界を受容しあい、互いの経験の世界を広げます。

三観点

知識・技能

<地図> イメージした世界を他者に伝えるようにかくことができる。
<風景> 地図の位置関係から風景をイメージして重なりや、遠近法を用いて表現する。

思考・判断・表現

<地図> 漠然としたイメージを地図の作成によって他者に視覚的に伝えようとする。
<風景> 地図の読み取りから、相手の思いや、楽しみを想像して表現しようとする。

主体的に学習に取り組む態度

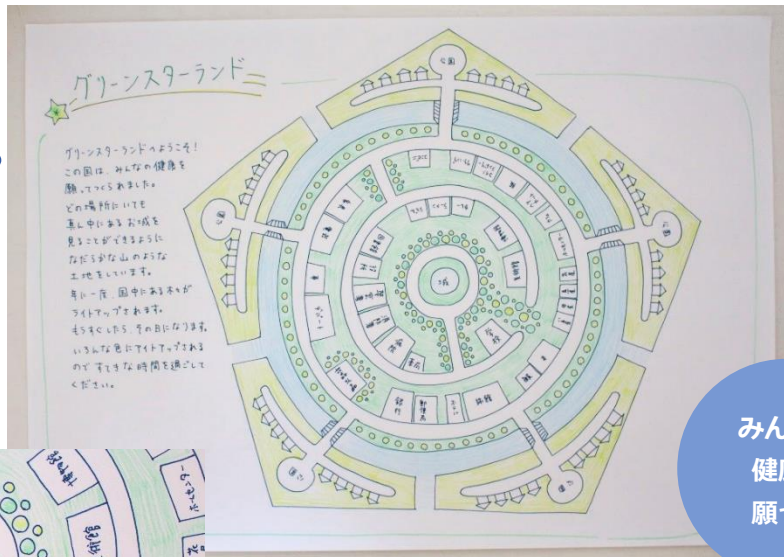
<地図・風景> 他者の思いが、自分と異なることを受容しようとする。
<地図・風景> 他者の思いを自分の思いや経験を通じて考えようとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

使用した材料・道具

コピー用紙、水彩ペン、色鉛筆



みんなの健康を願って

「グリーンスターランドの地図」

「グリーンスターランド」は、みんなの健康を願ってつくられた国です。真ん中に向かって、なだらかな山のような地形になっています。なので、どの場所からでもお城が見えます。一年に一度、国中に生えている木々がいろんな色でライトアップされます。その日は、もうすぐしたらやってくるので、ステキな時間を過ごしてほしいです。

一年に一度
国中の木々が
ライトアップ
される

国の人たちは
健康で顔にも
笑顔があふれ
ステキな夜でした

一年に一度、国中の木々がライトアップされる日に、「グリーンスターランド」に行ってきました。夜になると、ピンク、黄色、水色といろんな色の光があふれ、明るい夜でした。お城も、どこにいても見えるので、国中を見守ってくれているようでした。みんなの健康を願ってつくられたというところから、この地図を描いた人の心の温かさを感じました。

